

[REAL TIMESは外国人地震情報センターが発信する、外国人支援者向け情報誌です。]
外国人地震情報センター TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

■おもな項目 (95.4.29.~5.9.)

1. 外国人労働者問題全国交流集会 -4.29.30.
2. 第11回 地元NGO/外国人救援ネット -5.2. 中山手教会にて
(全3ページ)

■避難所生活者への個別面談調査開始 (神戸市)

神戸市は5月10日から16日まで、各避難所で生活している避難者へ面談調査を行います。目的は避難所の今後の運営に役立て、避難者の自立に向けての意向を問うため、となっています。

区の調査員が直接避難所を訪れ、各世帯の代表者に話を聞きます。避難所では在留資格のない外国人被災者も生活しており、行政による面談調査がどのように行われるのか、非常に注目されます。

調査票の内容は以下の通り。(原文のまま、枠線はとった)

1. あなたのご家族についてお聞かせ下さい (この避難所におられる方のみ)
お名前 続柄 性別 生年月日 地震前のお仕事 今のお仕事
避難所におられる家族の人数
2. あなたの”おすまい”についてお聞かせ下さい。
(1) 地震の時の住所は? 市 区 町/通 丁目 番号 [1.持ち家、2.借家]
(くわしく書いて下さい)
(2) そのときの”おすまい”は?
[1.住める 2.小修理をすれば住める 3.大規模修理が必要 4.住めない]
(3) り災証明は?
[1.全壊 (全焼) 2.半壊 (半焼) 3.一部損壊 4.取っていない]
3. 今後の”おすまい”の予定についてお聞かせ下さい。
(1) 避難所を出られるめどは? [1.ある 2.今のところない]
(1) -2「ある」と答えられた方にお聞きします。
→時期はいつ頃ですか? [1.5月 2.6月 3.7月 4.その他 ()]
→どこに住まれますか?
[1.もとの”おすまい” 2.新しい”おすまい”をみつける 3.仮設住宅 4.その他]
(2) 仮設住宅は申し込まれましたか?
[1.1次募集 2.2次募集 3.3次募集 4.地域型仮設 5.申し込んでいない]
4. 今後の生活でもっとも不安なことは何でしょうか?

■外国人地震情報センター概要■

母国語ホットライン、ニュースレターなど、外国人への情報提供を軸に被災者の支援活動を行っている。

[代表] 丹羽雅雄
[事務局長] 田村太郎
[所在地] 〒540 大阪市中央区常盤町1-4-12
常盤セントラルビル 3階
TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

活動継続へご支援を!!
活動資金が不足しています。
ご協力お願いします。
郵便振込口座: 00940-3-38938
口座名: 外国人地震情報センター

1. 外国人労働者問題全国交流集会

4月29、30の両日、RINK（すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク）主催で外国人労働者問題の全国交流集会を大阪で開催した。関東でこれまで開催されていたフォーラムを受け継ぐ形で行われた今集会は、阪神大震災を受け、「災害と外国人の人権」をテーマに現地からの報告とそれを受けての討論、入管問題、子どもの人権、外国人女性と売春防止法等とともに、「外国人被災者支援活動のこれから」と題して分科会を行った。

分科会「外国人被災者支援活動のこれから」の参加者と主な発言は次の通り。

日比野純一さん（被災ベトナム人救援連絡会）

避難生活がつづくベトナム人被災者へ市郊外の仮設住宅への移転が勧められているが、家さえあればよいというのではない。住み分けから共生へ、日本人社会との橋渡し役を担いたい。自分自身が住民なんだ、という意識がめばえるような活動が必要。

千葉由美子さん（大阪大司教区中山手現地救援対策本部）

避難所を巡回、各避難所での対応がことなることに驚き。「普通でない」被災者、外国人や路上生活者への対応に問題を感じる。誰が被災者なのか？

外国人登録のない被災者の義捐金などの取得を手伝っている。役所の対応の硬さにはがゆい思いをしている。

金宣吉さん（兵庫県定住外国人生活復興センター）

民族差別撤廃運動の経験から、生活支援は「仕事」からと考えている。活動はこれからだが、夢のある復興を行いたい。

内山史子さん（震災被災者を支える東京連絡会）

3月中旬頃より活動。厚生省交渉など中央と現地を結ぶ役割や、関東での外国人被災者の告知をおこなう。一般論ではなく、具体的なケースを共有したい。

報告を受け、外国人地震情報センターの田村と川村が加わりディスカッションを行った。言葉の壁と制度上の壁にくわえ、日本人社会の意識の問題点にふれ、多民族共生の観念のない社会構造に起因する、との見解が出された。

また、外国人被災者への支援活動を行った人々で、一度共通のテーブルを持とうという意見で一致した。

全国集会全体の詳細はRINK（06-910-7103）へ。

第11回地元NGO救援連絡会議／外国人救援ネット

5月2日、中山手カトリック教会で地元NGO救援連絡会議／外国人救援ネットの第9回会議が行われた。

<主な議題>

1. 神戸都市計画について
2. 弔慰金・見舞金
3. 大臣交渉について

★神戸都市計画について

新長田街づくり構想について、アジアグローバル研究会（長田にアジアタウンをもつ会）と、FMユーマンとで何らかの情報発信基地となれたら、と考えている。

★弔慰金・見舞金

5月2日、医療費と弔慰金問題についての、県・市・NGOの第3回の会談がもたれた。5月10日に小里大臣と同じテーマで交渉を行う旨を伝えた。また、ペルー人の

超過滞在者の死亡者の遺族に対し、弔慰金は支払われたいとする神戸市の見解があった。これについてはNHKや日経新聞などで報道された。

神戸市・兵庫県の見舞金は、在留資格に関係なく、日赤の義捐金を受けた被災者へ支給されている。

★大臣交渉について

5月10日午後2時30分より国土庁にて、外国人被災者への医療費と弔慰金の支給問題で小里貞利地震担当大臣と厚生省の担当者へ要望書を提出する。また午後3時30分より外務省にて外国人課の担当者と、国際人権の観点から外国人被災者への救済措置を促すよう交渉を行う。震災4カ月目となる5月17日を期限に回答を待ち、有効な回答が得られない場合は「医療費立て替え基金」を設立し、問題告知を目的とした募金活動を世界的に行う。

交渉後、外国人被災者の状況の告知と今回の交渉の報告を目的に記者会見を行う。午後5時より、場所はNGO活動推進センター（千代田区神田錦町2-9-1 斉藤ビル5階：TEL03-3294-5370）。記者会見についての詳細はJVC（日本国際ボランティアセンター：TEL03-3834-2388）の長野まで。

詳細は次号でも掲載します。

次回は5月19日（金）午後4時30分～ 中山手カトリック教会にて

■ やったことを記録に残すボランティア大集会 5月13日（土） ■

個人・団体に関わらず阪神・淡路大震災におけるボランティアの活動の記録を集め、集まった資料をどう残し、どう伝えるのか、について話し合います。

5月13日（土）、午後4時から7時、神戸市外大・大ホールにて。

お問い合わせは「やったことを記録に残すボランティア大集会」実行委員会

TEL 078-362-5951 阪神・淡路大震災地元NGO救援連絡会議内

■ 神戸ワンパクまつり 5月14日（日） ■

神戸総合運動公園で。無料屋台や医師による健康相談、国際電話の無料サービスなど、外国人向けのアトラクションはユニバー記念競技場前の広場に集結。会場へは、地下鉄総合運動公園駅下車すぐ。お問い合わせは実行委員会 TEL: 078-232-4411 中央区ボランティアルーム、または外国人地震情報センターまで。

■ 阪神大震災と外国人被災者の人権－救援活動の実際と課題－ 5月28日（日） ■

外国人と共に生きる大田区市民ネットワーク（OCNet）では「アジアの中の日本－パート2」として連続学習会を開催します。第一回は上記のテーマでOCNetの神戸派遣スタッフと外国人地震情報センターの田村が現地報告を行います。

お問い合わせはOCNet（TEL: 03-3737-6020）まで。

■ '95国際大運動会（'95 International Sports Festival Minoh） 5月28日（日） ■

大阪府箕面市のサントリー箕面総合トレーニングセンターで。箕面市には大阪外国語大学など、外国人が関係している施設がいくつかあり、同じ地域に住む住民同士の交流を目的開催されます。今回は当初の予定を変更し、震災で被災された人々に数多く参加してもらいたいと、とくに外国人被災者の参加を募っています。前日の27日夜は前夜祭が催されます。当日は国際電話の無料サービスや屋台など、外国人のためのイベントが盛りだくさん。参加はいずれも無料。

お問い合わせは、実行委員会（0727-22-3950）、または外国人地震情報センターまで。